

別記第 5 号様式 (第15条関係)

授業料徴収猶予許可申請書

令和 年 月 日

上越教育大学長 殿

所 属
平成・令和 年 月入学
本人氏名
父母又は配偶者等氏名
住 所

下記により、令和 7 年度前期分の授業料の徴収猶予の許可を受けたく、必要書類を添えて申請します。

記

理由 (該当番号に○印を付すこと。)

- (1) 経済的理由等のため (第13条第 1 項第 1 号該当)
- (2) 行方不明のため (第13条第 1 項第 2 号該当)
- (3) り災のため (第13条第 1 項第 3 号該当)
- (4) その他の理由のため (第13条第 1 項第 4 号該当)

(注) (2)の理由による場合は、本人氏名の下に代理人氏名と表示し、その代理人の氏名及び本人との続柄を記載すること。

家計調査書

令和7年4月1日現在

学籍番号		氏名		休学歴	有・無 理由()			
現住所 (居所)				① 家族住所				
申請者連絡先(携帯電話)								
家族連絡先								
② 家 族 構 成	③ 家 計 支 持 者	続柄	氏名	年齢	同・別居	現在の職業	在職年数	勤務先
		父			同・別		年月	
		母			同・別		年月	
		父又は母が 死亡・生別・無職 誰が() その年月(昭和・平成・令和 年月) 理由()						
	④ 就 学 者 以 外				同・別		年月	
					同・別		年月	
					同・別		年月	
					同・別		年月	
	⑤ 就 学 者	続柄	氏名	年齢	在学学校名		学年	通学別
		本人			国立 上越教育大学			自宅・自宅外
				立			自宅・自宅外	
				立			自宅・自宅外	
				立			自宅・自宅外	
				立			自宅・自宅外	
				立			自宅・自宅外	
⑥特別控除(該当者は、証明書類を添付してください)								
控除内容			該当数	該当	控除内容		該当数	該当
父子世帯・母子世帯			/	有・無	主たる家計支持者の別居		/	有・無
障害者				有・無	震災・火災・風水害・盗難等の被害		/	有・無
長期療養者				有・無				
⑦家庭事情(申請に至った理由)								

注:主たる家計支持者(収入の多い家計支持者)の続柄を○で囲んでください。

記入例 (家計調査書)

【現住所(居所)】
現住所を記入してください。

【家族住所】
主たる家計支持者の住所を記入してください。
ただし、主たる家計支持者が単身赴任等で家族と別居している場合は、家族の住所を記入してください。

同・別居は、主たる家計支持者(注)から見た場合を記入してください。
父子世帯又は母子世帯の者は、理由を記入してください。

就学者以外の生計を一にする家族を記入してください。
予備校、各種学校等に在学している者はこの欄に記入してください。
就職している者(パート・アルバイトは除く)は記入しないでください。
同・別居は、主たる家計支持者(注)から見た場合を記入してください。

就学者を記入してください。就学者は、小・中・高校・高専・大学、特別支援学校、専修学校(専門・高等課程)に在学する者です。

該当する場合は有に○をつけ、証明書類を添付してください。(記載要領を参照)

申請者から見た現在の家庭状況及び授業料免除申請に至った理由を具体的に記入してください。

家計調査書

令和7年4月1日現在

学籍番号	20252000A	氏名	上越 太郎	休学歴	有(無)理由()		
現住所(居所)	新潟県上越市山屋敷町1番地 上越教育大学単身用学生宿舎 D棟0000号室		①家族住所	新潟県新潟市中央区〇〇町 〇〇番地			
申請者連絡先(携帯電話)	090-0000-0000						
家族連絡先	025-0000-0000						
③家計支持者	続柄	氏名	同・別居	現在の職業	在職年数	勤務先	
	父	上越 一郎	52	同・別	会社員	30年月 (株)〇〇〇〇	
	母	上越 花子	50	同・別	専業主婦	年月	
父又は母が 死亡・生別・無職 誰が() その年月(昭和・平成・令和 年月)理由()							
④就学者以外	祖父	上越 一男	77	同・別	無職	年月	
				同・別		年月	
				同・別		年月	
⑤就学者	続柄	氏名	年齢	在学学校名		学年	通学別
	本人	上越 太郎	18	国立 上越教育大学		1	自宅(自宅外)
	姉	上越 さくら	21	国立 ■■大学		4	自宅(自宅外)
	弟	上越 次郎	16	県立 □□高等学校		2	自宅・自宅外
				立			自宅・自宅外
			立			自宅・自宅外	
			立			自宅・自宅外	
⑥特別控除(該当者は、証明書類を添付してください)							
控除内容		該当数	該当	控除内容		該当数	該当
父子世帯・母子世帯		/	有(無)	主たる家計支持者の別居		/	有(無)
障害者			有(無)	震災・火災・風水害・盗難等に被災		/	有(無)
長期療養者			有(無)				
⑦家庭事情(申請に至った理由)							

注:主たる家計支持者(収入の多い家計支持者)の続柄を○で囲んでください。

「家計調査書」の記入要領

記 入 欄	記 入 上 の 注 意
① 「家族住所」	<ul style="list-style-type: none"> ●主たる家計支持者の住所です。ただし、主たる家計支持者が勤務等の関係で一時的に家族と別居している場合は、家族の住所を記入してください。
② 「家族構成等」 (全体)	<ul style="list-style-type: none"> ●<u>父母のほか、同居・別居を問わず父母が扶養する者</u>について記入してください。 ●就職し、経済的に独立している家族は、記入しないでください。(家計支持者と同居のアルバイト、パート等を除く) ●<u>「続柄」</u>は、申請者本人から見て記入してください。 ●<u>「現在の職業」</u>は、食料品小売商、洋服仕立業、小学校教員、会社員、パート等と具体的に記入し、無職の場合も空欄とはせずに「無職」「専業主婦」「年金収入」等と記入してください。 ●<u>「同・別居」</u>は、主たる家計支持者(収入の多い家計支持者)から見た場合を記入してください。 ●<u>「在職年数」</u>は、現在の職業に就いてからの年月を記入してください。 ●<u>「勤務先」</u>は、(株)〇〇会社〇〇営業所、(有)〇〇商店、〇〇町立〇〇小学校のように詳しく記入してください。 ●申請者本人が「独立生計者」の場合には、<u>申請者本人</u>(配偶者を有するときは<u>配偶者</u>を含む。)に扶養されている者を記入してください。 「独立生計者の平均生活費等申告書」(別紙8)に「健康保険証又は組合員証のコピー」と「申請者の世帯全員の住民票」を添付して提出し、独立生計を営んでいることを証明する必要があります。 なお、「独立生計を営む」とは、次の要件を「全て」満たす場合をいいます。 <ul style="list-style-type: none"> ・本人(配偶者を含む)の収入で生計の全てを賄っている者 ・父母等の扶養親族でない者 ・父母等と別居している者
③ 「家計支持者」	<ul style="list-style-type: none"> ●父子世帯又は母子世帯の者は、その年月・理由(死亡・離婚・未婚等)を記入してください。
④ 「就学者以外」	<ul style="list-style-type: none"> ●父母を除く就学者以外の家族を記入してください。ただし、就職している者(パート、アルバイトを除く)は記入しないでください。 ●予備校、各種学校(洋裁学校、防衛大学校等)、専修学校(一般課程)等に在学している者は、この欄に記入してください。
⑤ 「就学者」	<ul style="list-style-type: none"> ●小・中・高校・高専・大学(大学院・専攻科・別科を含む)、特別支援学校、専修学校(専門課程・高等課程)に在学している者を記入してください。 ●上記以外の予備校、各種学校(洋裁学校・防衛大学校等)、専修学校(一般課程)などに在学している者は、「就学者以外」欄に記入してください。

記 入 欄	記 入 上 の 注 意
⑥ 「特別控除」 （世帯の総所得金額合計から特別に控除できるものです。）	<ul style="list-style-type: none"> ● 該当の有無を○で囲んで記入してください。該当者が複数いる場合は「該当数」に人数を記入してください。
	<ul style="list-style-type: none"> ● 「障害者」に該当する者（本人を含む）は、次のとおりです。原則障害者手帳のコピーを添付してください。 <ul style="list-style-type: none"> ・ 身体障害者手帳の交付を受けた者又はこれに準ずる者 ・ 公害疾病の認定を受けた者で、かつ当該公害による身体上の障害がある者 ・ 原爆被爆者で、身体の機能に障害のある者 ・ 精神上的障害により事理を弁識する能力を欠く常況にある人若しくは知的障害のある人と判定された者 ・ 常に就床を要し、複雑な介護を要する者
	<ul style="list-style-type: none"> ● 「長期療養者」は、申請時現在において6か月以上にわたる期間、療養中の者又は療養の必要があると認められた者が該当します。 「長期療養者にかかる経費調書」（別紙5）、「医師の診断書」、「経費の領収書のコピー」を添付してください。療養費が所得金額から控除されます。 控除の対象となる費目は次のとおりですが、健康保険・高額療養費等によって医療給付を受ける金額及び損害賠償等によって補填される金額は除いてください。 ア. 医師又は歯科医師に対して支払う診療代、治療代 イ. 病院、診療所へ入院するために支出する費用（入院患者の食費代を除く） ウ. あんま師、はり師、きゅう師などの治療を受けるために支出する費用 エ. 看護人に対して支払う費用（看護人に対する賄い費を含む） オ. 治療または療養のため支出する医薬品代 カ. 病院、診療所へ通院するため支出する交通費（必要不可欠と認められるものに限る。タクシー利用の場合は領収書を添付すること） キ. 介護保険法により「要介護認定・要支援認定」を受けた者が介護サービスを利用した場合の自己負担額 ● 「主たる家計支持者の別居」は、家計支持者の単身赴任等により特別に支出している金額について、原則として住居費・光熱水費の実費を「主たる家計支持者の別居に必要とする経費調書」（別紙6）に記入し、経費の領収書とともに添付してください。 ● 「震災・火災・風水害・盗難等の被害」は、申請時の過去6か月以内（新入生は1年以内）に、震災・火災・風水害・盗難等の被害を受けたため支出が増大したり、収入が減少したりして困窮状態にある場合、災害等を被った年月日、程度及び被害額を「被災証明書」、「被害額を証明する書類」、「損害保険金支払証明書」等を添付することにより、被害額（年額）が所得金額から控除されます。 <ul style="list-style-type: none"> ・ 日常生活を営むために必要な資材に被害を受けた場合は、最低限度の衣料、家具の購入費及び修理費 ・ 生活手段（田・畑・店舗等）に被害を受けた場合は、長期にわたって収入減を予想される年間金額 ・ 所得税の雑損控除を受ける場合は、その控除額
⑦ 「家庭事情」	<ul style="list-style-type: none"> ● 申請者から見た現在の家庭状況及び授業料免除申請に至った理由について、事実をありのままに、よくわかるように記入してください。

別記様式

上越教育大学くびきの奨学金給付申請書

令和 年 月 日

上越教育大学長 殿

学籍番号 _____

所属・学年 _____

氏 名 _____

下記のとおり上越教育大学くびきの奨学金の給付を申請します。

記

1. 申請の理由

.....
.....
.....
.....
.....

2. 現に受給している他団体等における奨学金の状況

奨学金の名称	形態	月額及び期間
	貸与・給付	円(. 月～ . 月)
	貸与・給付	円(. 月～ . 月)
	貸与・給付	円(. 月～ . 月)

※虚偽の申請があった場合は、奨学金の全部又は一部を返還してもらうことがあります。

年収入（見込）証明書

令和 年 月 日

関係各位

受給者
住所 _____
氏名 _____ 印

私に関する収入について、下記により証明願います。

記

氏名		雇用形態	常勤 非常勤（パート）
採用年月日	平成・令和 年 月 日	職種	
年間収入 （見込み）額	_____ 円		

（証明者へのお願い）

- 1 年間収入（見込み）額は、採用後1年間以上経過している場合は、採用後1年間（12か月）の支払金額を記入してください。
- 2 採用後1年間を経過していない場合は、1年間（12か月）雇用するとした場合の支払見込額を記入してください。
- 3 年間収入（見込み）額は、賞与を含む税込みの金額を記入してください。

上記のとおり証明します。

令和 年 月 日

所在地
会社名
証明者 _____ 印
TEL () -

長期療養者にかかる経費調書

令和 年 月 日

1. 長期療養者

氏名 _____ 生年月日 ※ 明治・大正・昭和・平成 _____ 年 月 日生 (歳)
 病名 _____
 療養期間 外来 平成・令和 年 月 日～平成・令和 年 月 日
 入院 平成・令和 年 月 日～平成・令和 年 月 日

健康保険の名称 ※ 国民健康保険 _____ 健康保険組合 (会社等)
 老人保健 _____ 共済組合 (公務員等)
 その他 _____

2. 療養費支出内訳 (最近の6か月分を基に最大1年分を算出)

区分 月 (最近 6か月)	医療費					医療費以外 の経費	計
	窓口での支払い金額 ①		健康保険等からの補填 額(高額療養費等)②		自己負担額 ③=①-②		
	外来分	入院分	外来分	入院分		④	③+④
令和6年 9月分	円	円	円	円	円	円	円
10月分							
11月分							
12月分							
令和7年 1月分							
2月分							
1か月平均 →							円
1年間の療養費見込み額 (上記 × 12か月) →							円

記入要領

- 長期療養者とは、申請時現在において6か月以上の期間療養中の者又は今後も療養の必要が見込まれる者としてします。
- 療養のための経費は、申請時までの最近6か月分の支出金額に基づき、今後の療養見込み期間を考慮して、年間の療養期間に見合った額を算出してください。
- 対象とする経費は、次のとおりとします。ただし健康保険等によって医療給付を受ける金額及び損害賠償等によって補填される金額は除いてください。
 - 医師又は歯科医師に対して支払う診療代又は治療代 (診断書料を除く)
 - 病気、診療所へ入院するために支出する費用 (入院患者の食事代を除く)
 - あんま師、はり師、きゅう師、柔道整復師などの治療を受けるために支出する費用
 - 看護人に対して支払う費用 (看護人に対する賄い費を含む。)
 - 治療又は療養のため支出する医薬品代
 - 病院、診療所へ通院するために支出する交通費 (必要不可欠と認められるものに限る。タクシー利用の場合は領収書を添付すること。)
 - 介護保険法により「要介護認定・要支援認定」を受けた者が介護サービスを利用した場合の自己負担額
- 医師の診断書を添付してください。
- 経費の領収書の写し (最近の6か月分) を月ごとにまとめて必ず添付してください。(上記3のカ以外は、領収書のないものは認めません。)
- ※印は、いずれかを選択してください。なお、健康保険の名称が不明の場合は、健康保険証の写しを提出してください。

主たる家計支持者の別居により必要とする経費調書

令和 年 月 日

1. 別居者

別居者氏名		続柄	
別居期間	平成・令和 年 月 日 ~ 令和 年 月 日 (予定)		
別居理由		勤務先	
別居者住所	〒 TEL () -		
家族の住所	〒 TEL () -		

2. 別居に要する経費 (円)

区分 月分 (最近3か月)	支出金額				計
	住居費	電気料	水道料	ガス料	
令和6年12月分					
令和7年1月分					
2月分					
1か月平均 →					
上記(1か月平均) × 12か月 →					

記入要領

- 1 経費は、別居のため特別に支出している金額(原則として住居費、光熱水費)とします。
- 2 経費の領収書等を月ごとにまとめて必ず添付(写し可)してください。(最近3か月分)

在学状況等証明書

学校担当者 殿

(申請者の兄弟姉妹)

学 校 名 _____ 第 _____ 学年

申請者氏名 _____

このたび、上越教育大学に在学中の私の(続柄： _____ 氏名： _____)が、
(入学料免除・授業料免除・授業料徴収猶予) を申請するため、私の下記事項について証明
願います。

記

1. 入学年度 平成・令和 _____ 年度入学
2. 通学区分 自宅 自宅外
3. 設置者区分 国立 公立 私立
4. 学校種別 高等学校 高等専門学校 大学院・大学・短大
専修学校(専門課程) 専修学校(高等課程)
専修学校(一般課程) 各種学校

上記の者は、本学に在学し、記載のとおり相違ないことを証明します。

令和 _____ 年 _____ 月 _____ 日

学 校 名

所属・職名

氏 名

電 話

㊟

- 本証明書が発行できない場合、「在学証明書」を発行願います。
- 就学者が複数の場合は、コピーして使用してください。

独立生計者の平均生活費等申告書

令和 年 月 日

上越教育大学長 殿

学籍番号 _____

氏 名 _____

下記のとおり相違ありません。

記

	収 入 (円)		支 出 (円)	
	1か月の 平均収支	定 職		住 居 費
ア ル バ イ ト			食 費	
奨 学 金 (返 還 不 要 の 奨 学 金)			光 熱 水 費	
預 貯 金 の 取 り 崩 し			修 学 費	
そ の 他 の 収 入 ()			通 信 費	
そ の 他 の 収 入 ()			そ の 他	
計		①	計	②
計		①×12ヶ月	②×12ヶ月	
	奨 学 金 [年 額] (返 還 が 必 要 な 奨 学 金)		授 業 料 [年 額]	
	年間収入額(見込)		年間支出額(見込)	

記入要領

- 1 修学費には、入学金を含めず、書籍・教材・文具購入費・研究活動費・課外活動費等を記入すること。
- 2 授業料は、下記の該当金額を記入すること。
在学期間2年で修了予定の者:535,800円 在学期間3年で修了予定の者:357,200円
- 3 通信費には、通話料(携帯電話等)及びインターネット使用料を記入すること。
- 4 年間支出額(見込)が、年間収入額(見込)の金額を上回らないこと。**
- 5 記入内容に虚偽があり、それが判明した場合は、授業料免除決定後でも免除を取り消すことがあるので、正確に記入すること。

※ 確認のため、預金通帳の写しを提出していただく場合があります。

【裏面】

指導教員の所見

学生氏名 _____

■1ページをご確認の上、わかる範囲で人物、学業、経済状況等についてご記入ください。

令和 年 月 日

指導教員氏名

印

私費外国人留学生の平均生活費申告書

令和 年 月 日

上越教育大学長 殿

学籍番号 _____

氏 名 _____

下記のとおり相違ありません。

記

1 か 月 の 平 均 収 支	収 入 (円)		支 出 (円)	
		本国からの送金		住居費
		在日親族・保証人等の援助		食 費
		奨 学 金 (返還不要の奨学金)		光 熱 水 費
		ア ル バ イ ト		修 学 費
		預貯金取り崩し		教 養 娛 楽 費
		その他の収入 ()		通 信 費
				そ の 他
①	合 計	②	合 計	
	① × 12ヶ月		② × 12ヶ月	
	奨 学 金 [年 額] (返還が必要な奨学金)			
年間収入額(見込)		年間支出額(見込)		

記入要領

- 1 前期は4月現在、後期は10月現在の状況から算出してください。
- 2 数字は、アラビア数字(1,2,3,4----0)で記入してください。
- 3 収入の計と支出の計は一致させてください。
- 4 修学費には、入学料・授業料を含めず、書籍・教材・文具購入費等を記入してください。
- 5 通信費には、電話使用料(携帯電話含む)・インターネット使用料等を記入してください。
- 6 預貯金取り崩しには、銀行や郵便局で預貯金の払い戻しをする額等を記入してください。

※ 確認のため、預金通帳の写しを提出していただく場合があります。

指導教員の所見

留学生氏名 _____

■1ページをご確認の上、わかる範囲で人物、学業、経済状況等についてご記入ください。

令和 年 月 日

指導教員氏名

印



履 歴 書

令和 7 年 4 月 1 日 現在

ふりがな		
氏 名		
生 年 月 日 年 月 日生 (才)		
現 住 所 〒		電 話
		メールアドレス
年	月	学 歴
※ 記 入 例		
平成 ○ ○	3	○ ○ 県 立 ○ ○ 高 等 学 校 卒 業
令 和 ○ ○	4	○ ○ 大 学 ○ ○ 学 部 ○ ○ 学 科 入 学
令 和 ○ ○	3	○ ○ 大 学 ○ ○ 学 部 ○ ○ 学 科 卒 業

記入上の注意：学歴は高等学校卒業から記入してください。

社会人経験略歴（欄が足りない場合は、別紙を付けてください。）

採用（従事）期間	職種等 (会社名・アルバイト・自営・子育て・無職等について記入)
年 月～ 年 月（ 年 ケ月）	
年 月～ 年 月（ 年 ケ月）	
年 月～ 年 月（ 年 ケ月）	
年 月～ 年 月（ 年 ケ月）	
年 月～ 年 月（ 年 ケ月）	
年 月～ 年 月（ 年 ケ月）	
年 月～ 年 月（ 年 ケ月）	
年 月～ 年 月（ 年 ケ月）	
年 月～ 年 月（ 年 ケ月）	
年 月～ 年 月（ 年 ケ月）	
年 月～ 年 月（ 年 ケ月）	

※大学記入欄

<p>※社会人経験通算 年 ケ月 (※この欄は記入しないでください。)</p>

※記入内容に事実と異なることが判明した場合は、免除の許可を取り消すこととなります。

「授業料後払い制度」利用希望確認書

令和 年 月 日

学籍番号 _____

所属・学年 _____

氏 名 _____

私は、大学院修士段階における「授業料後払い制度」の利用を希望します。

記

利用希望の理由

※本書類は「授業料後払い制度」の利用希望を確認する書類であり、正式な申込は別途手続きが必要です。